

令和5年度 活動報告

～ 3期目スタートの一年～

令和6年4月

川崎市議会議員 矢沢たかお

矢沢たかお プロフィール

- 昭和60年8月28日、川崎市宮前区初山に生まれる (38歳)
- 川崎市立菅生小学校 卒業・川崎市立菅生中学校 卒業
- 法政大学第二高等学校 卒業・法政大学情報科学部 卒業
- 平成20年 伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社
- 平成26年 政治活動に専念するため同社を退社・平成27年川崎市議会議員(宮前区)初当選・令和5年三期目当選
- 令和5年度 総務委員会 委員 大都市税財政制度調査特別委員会 委員
- 趣味：剣道四段(五段に向け修行中)、空手二段、書道 毛筆三段 硬筆二段



昨年、令和5年4月に行われた第20回統一地方選挙において、3期目の当選を果たす事が出来ました。引き続き、わかりやすい市政と積極的な情報発信に努めてまいります。

今回の報告資料では、今回選挙で掲げた公約に対する取組状況を記載し、従来からの宮前区3大事業に新たに「北部市場リニューアル」を加え、4大事業と改め、地域の諸課題への取組と共に更新致しました。

本来であれば、市政に対する様々なご意見やご要望を伺う機会としても報告会を開催したいところですが、昨年同様、活動報告資料等を以てかえさせていただきますので、お忙しい中恐縮ではありますが、ご一読頂ければ幸いです。

今後も「謙虚に 丁寧な 前向きに」を信条に取り組んで参りますので、変わらぬご指導ご鞭撻の程どうぞ宜しくお願い致します。

目次

1. 3期目公約について

2. 宮前区に係る4大事業の状況

3. 地域の諸課題への取組状況

目次

1. 3期目公約について

2. 宮前区に係る4大事業の状況

3. 地域の諸課題への取組状況

1. 3期目公約について

今回（2023年4月）選挙における公約資料

新聞広報

法定個人ビラ（表面）

法定個人ビラ（裏面）

謙虚に 丁寧に 前向きに

愛着と誇りの持てる宮前区へ

子育て

交通・防災

子育て世帯が安心して
住み続けられるまちづくり

交通利便性と大規模災害
に対する防災・減災の取組

- 多子世帯支援の充実
- 子どもの近視予防対策の充実
- 自然豊かな広場や公園づくり
- ボール遊びが出来る地域環境づくり

- 横浜市営地下鉄3号線延伸を見据えた交通渋滞対策
- 区内都市計画道路の推進
- 大規模災害時に物資供給拠点となる北部市場の再整備

まちづくり

文化歴史

お年寄りや障がい者が
元気に活躍できる環境づくり

教育の充実と地域の文化・
歴史に触れる機会をつくる

- 介護予防・認知症対策の推進
- 都市農業施策の推進
- 歯科口腔保健の充実
- (鷺沼駅再開発)交通渋滞対策と災害対策の充実

- 市唯一の国史跡指定・「たはなかんがいせき」橋樹官街遺跡群を活かした地域づくり
- 地域文化財のPRと教育現場での地域学習の充実

略歴

S60年宮前区初山生まれ。菅生中学卒業 / 法政二高卒業 / 法政大学情報科学部卒業
H20年 伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社
H31年 川崎市議会選挙(宮前区)二期目当選
現在 健康福祉委員会委員長 / 自民党川崎市議団副団長
自民党川崎市連政調会長代理



剣道四段(次の目標は五段)、空手二段

前回公約に対する検証も!
選挙公報だけじゃわからない
「公約・政策」はこちらから!



自民党公認

矢沢 たかお 37才

矢沢たかお プロフィール

昭和60年8月28日 宮前区初山生まれ
A型 / 乙女座 / 丑年
菅生中学卒業 / 法政二高卒業 / 法政大学情報科学部卒業
平成20年 伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社
平成26年 政治活動に専念するために同社を退社
平成31年 川崎市議会選挙(宮前区)二期目当選
令和5年現在 健康福祉委員会委員長
自民党川崎市議団副団長
自民党川崎市連政調会長代理
川崎市幼雑園父兄の会連合会会長
宮前区剣道連盟 理事長
宮前区少年野球連盟 顧問
宮前区グートボール協会 相談役
神奈川県住居協会川崎支部 顧問
自衛隊募集相談員 顧問
川崎市空手道衛生工業会 顧問
川崎警察奈良協同組合 顧問
川崎市通園建設協同組合 顧問

剣道 四段 (現在、五段に向けて修行中) / 空手 二段 / 書道 毛筆二段 / 硬筆 二段

趣味 剣道 四段 (現在、五段に向けて修行中) / 空手 二段 / 書道 毛筆二段 / 硬筆 二段

矢沢たかお 事務所
〒212-0256 川崎市宮前区北山 1-20-12
TEL:044-872-6222 FAX:044-872-8988

市議会代表質問 地域を何よりも大切に

謙虚に 丁寧に
前向きに

相談を受ければ必ず現地視察 経済安保担当大臣への要望活動

愛着と誇りの持てる宮前区へ

YouTube これからのカワサキ

<h3>子育て</h3> <p>子育て世帯が安心して住み続けられるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多子世帯支援の充実 ● 子どもの近視予防対策の充実 ● 自然豊かな広場や公園づくり ● ボール遊びが出来る地域環境づくり 	<h3>交通・防災</h3> <p>交通利便性と大規模災害に対する防災・減災の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 横浜市営地下鉄3号線延伸を見据えた交通渋滞対策 ● 区内都市計画道路の推進 ● 大規模災害時に物資供給拠点となる北部市場の再整備 	<h3>まちづくり</h3> <p>お年寄りや障がい者が元気に活躍できる環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 介護予防・認知症対策の推進 ● 都市農業施策の推進 ● 歯科口腔保健の充実 ● (鷺沼駅再開発)交通渋滞対策と災害対策の充実 	<h3>文化歴史</h3> <p>教育の充実と地域の文化・歴史に触れる機会をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市唯一の国史跡指定・「たはなかんがいせき」橋樹官街遺跡群を活かした地域づくり ● 地域文化財のPRと教育現場での地域学習の充実
--	--	---	--

実績 区内スポーツ環境の充実!!
初バスケットゴール設置と新たな野球場

実績 向丘出張所の機能強化!!
地域交流機能・行政機能の充実

実績 学校給食×市内産野菜!!
食農教育と都市農業の充実

地域の声を議会に!!
公約に掲げたテーマを中心に、地域課題を積極的に取り上げ、すべての議会で一般質問を実施

緊急事態も地域に寄り添う!!
新型コロナも早く編成制度を確立する等、市民に対するアスタガ形の職進など、地域で出来る事を積極的に実施

国県市の連携強化!!
「守るべきものは守り、見捨てるべきものは見直す」姿勢を大切に、自民党をより強くしていきます。

情報発信
市政をわかりやすく幅広く発信しています!

馬頭活動
区内の各所で実施中
お声がけしたときありがとうございます。

市政報告会
毎年実施の市政報告会、コロナで出来なかった年は、YouTube動画にて報告会を実施

矢沢たかお NEWS
毎定例会後、2期8年間で28回発行 | 配布枚数計9.6万枚

タウンニュース
2ヶ月毎に市政報告会掲載 | 2期8年間で4.4回発行!

配布責任者: 村野 政広 川崎市宮前区大宮 1-6-40 印刷者: 大野デザインセンター株式会社 (川崎区宮前3-28-1)

1. 3期目公約について



子育て世帯が安心して住み続けられるまちづくり

●多子世帯支援の充実

2030年まで人口が増え続ける川崎市では、子育て世帯に限って分析すると、転出世帯が転入世帯を大きく上回っており（年間1,000世帯※平成28年時点）、**多くの子育て世帯が市外へ流出している実態**があります。

その多くが、子どもが生まれたタイミング、二人目、三人目が生まれたタイミングである事からも、住み続けるまちとして選ばれていないのではないかと考えています。

実際、川崎市の子多世帯割合は全国政令指定都市においても、常に19位～21位付近に位置しています（※国民生活基礎調査）。多子世帯支援を充実し、二人、三人と子どもを安心して産み育てられる環境に向け取組んで参ります。

●子どもの近視予防対策の充実

全世界の兆候と同じく、日本においても、小児近視の有病率が著しく増加しています。平成30年の学校保険統計では、**裸眼視力が1.0未満の児童が、幼稚園で26.68%であり、小学校では34.10%、中学校では56.04%と過去最悪レベル**を示しています。強度近視になると、緑内障、網膜剥離、そして失明へと繋がる重篤な眼疾患に罹患するリスクが高まります。

小児の近視有病率増加の原因として、スマートフォンをはじめとしたデジタルデバイスの使用環境があると考えられています。**スクリーンタイム制限設定の推奨等、一次予防政策を推進します。また、斜視や弱視の早期発見を目的とした3歳児眼科健診の一層の充実の為に、SVS（スポットビジョンスクリーナー）を用いた検査を拡充し、子どもたちの眼を守る取組を進めます。**

取組状況

同じ子育て世帯から頂戴した相談がきっかけで、令和3年から議会で本市の子多世帯支援の取組が遅れている問題を取り上げる。その後継続して、会派としても要望を続け、その拡充の方向性が昨年9月市長から示される。本年4月から認可保育所や認定こども園等の保育料について、きょうだいの年齢制限や所得制限を撤廃された。

小児の近視有病率増加の原因として、スマートフォンをはじめとしたデジタルデバイスの使用環境があると考えられている。令和4年から川崎市眼科医会からの提言を受け、スクリーンタイム制限設定の推奨等に加え、斜視や弱視の早期発見を目的としたSVS（スポットビジョンスクリーナー）導入を掲げ、令和5年度川崎市全区に配備が完了。現在、3歳児眼科検診で使われている。全国的にも進んだ取組となった。

達成度

（任期終了前に評価）

1. 3期目公約について

子育て世帯が安心して住み続けられるまちづくり



●自然豊かな広場や公園づくり

スポーツ庁が公表している小学校5年生と中学校2年生を対象とした平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果では、体力テストにおいて、神奈川県は全8種目の合計点の平均が男女いずれも全国を下回っている状況です。加えて、本市の中学校2年生は、男女ともに全国政令市の中で最下位という結果でした。

人口増加が続く本市において、子どもたちが小さい頃から伸び伸びと元気に遊ぶ事ができる環境の整備は、運動習慣をつけるといった意味でも重要です。市域自体が狭いといった理由もありますが、今まで活用が進んでこなかった「特別緑地保全地区」を最大限活かした取組、公園が充足していない地域における広場や公園づくりを推進していきます。

取組状況

当方議会質問等を経て、「特別緑地保全地区」について、保全緑地の利活用と健全な樹林地環境の保全の好循環の創出に向け、王禅寺四ツ田緑地をモデル地区として令和4年度に取組がスタートする等、一定の成果は出ているが、市街地公園の数・面積共に十分ではない為、今後も取組が必要。

達成度 (任期終了前に評価)

—

●ボール遊びが出来る地域環境づくり

2030年160万人まで人口増が続く本市ですが、子どもたちが気軽に地域の中でボール遊びが出来る環境が足りていません。ボール遊びを禁止する公園も多く存在します。現在、川崎市ではこれらの問題解決に取り組む為の施策「みんなの校庭プロジェクト」を推進しています。市内114ある小学校校庭を平日放課後や土日等（地域条件による）を開放し、子どもたちがやりたいことを実現する為の施策です。これを強力に推進します。

とりわけ、バスケットボール環境に必要なゴールの設置拡充に向けて、全小学校への設置と市内公園及び河川敷への設置拡充を推進します。また、野球場が無い宮前区においても野球ができる環境として、多摩川河川敷の利用環境整理に取組ます。

市内114ある小学校校庭の平日放課後や土日等を開放する「みんなの校庭プロジェクト」。令和4年度は全区でモデル校を1校ずつ設置し、令和5年度は準備が整った学校から開放を推進。令和6年度では「わくわくプラザ」事業と連携し、全校校庭開放を予定。

バスケットボール環境や野球が出来る環境整備も順次拡大に向け取組中。

—

1. 3期目公約について



交通利便性と大規模災害に対する防災減災の取組

取組状況

達成度

(任期終了前に評価)

●横浜市営地下鉄3号線延伸を見据えた交通渋滞対策

前回、東側（宮前区側）ルート推進を公約に掲げ取り組んできた結果、令和2年に概略ルート・駅位置・東側ルート決定が公表されました。その後は、環境影響評価手続、都市計画手続に向けた取組が行われ、令和12年開業目標に向け、横浜市と共同で具体化に向けた検討の深度化が進んでいます。

将来的に川崎市内にヨネッティー王禅寺周辺に中間駅が設置されることによる、駅周辺のまちづくりの議論を進めつつ、充実する公共交通ネットワークに耐えられる道路交通状況の改善を進めていく必要があります。**ボトルネックとなるであろう道路や交差点の改良に向けた取組を進めます。**

22頁参照



—

●区内都市計画道路の推進

道路網の強化は、日頃の交通渋滞対策は勿論、災害時や緊急時の救急輸送道路の充実といった観点でも重要です。1～2期目に引き続き、清水台交差点付近、横浜市境に向けて約100メートルの区間である「都市計画道路・横浜生田線（水沢工区）」の開通を推進致します。さらに鷺沼駅周辺再編整備に併せて、交通渋滞対策として開通が必要と考えられる「梶ヶ谷菅生線」や「登戸野川線（宮崎台小学校付近の工区）」についても、次期整備プログラムへの参入を検討してまいります。

23頁参照



—

1. 3期目公約について

交通利便性と大規模災害に対する防災減災の取組



●大規模災害時に物資供給拠点となる北部市場の再整備

市民に生鮮食料品等を安定的に供給する「食の流通拠点」として、昭和57年に宮前区水沢に開場した市中央卸売市場北部市場。開場から40年以上が経過し、施設老朽化や社会経済環境の変化への対応が必要となりました。現在、川崎市は平成28年に策定した「川崎市卸売市場経営プラン」に基づき、北部市場の機能更新に向けた取組を推進しています。

この再整備事業を市民・場内事業者・取引事業者・行政にとって有意義な整備とすべく、取組を進めていきます。とりわけ、川崎市地域防災計画上、大規模災害時の物資供給拠点として大変重要な役割を担うのが北部市場。平成28年に発生した熊本震災では、国から寄せられた大量の受援物資が各避難所に届かないという深刻な問題が発生しました。川崎市の災害対応能力の向上に資する再整備計画にして参ります。

取組状況

20頁参照



達成度

(任期末前に評価)

1. 3期目公約について



お年寄りや障がい者が元気に活躍できる環境づくり

達成度
(任期終了前に評価)

●介護予防・認知症対策の推進

人生100年時代、高齢者がいつまでも元気に健康で、地域においても社会においても活躍してくれることが、若年世代にとっても希望となります。現在の川崎市が置かれている状況を見てみると、令和2年10月時点で65歳以上の高齢者数が市内で約32万人、そのうち認知症患者の方が5.9万人、高齢者の約6人に1人が認知症であり、近いうちには5人に1人となると見込まれています。認知症対策については、早期発見・早期治療に向け、市内4センター体制となった認知症疾患医療センター機能の強化充実を図ります。また、令和4年度まで実施した軽度認知障害（MCI）スクリーニング検査のモデル事業を検証し、本格実施に向けた取組を進めていきます。

取組状況

市内では、認知症に関する専門医療相談窓口となる「認知症疾患医療センター」を積極的に開設。市立川崎病院、日本医科大学武蔵小杉病院、聖マリアンナ医科大学病院、かわさき記念病院、令和4年時点で4センターとなった。一方で、相談までに時間がかかるといった課題もあり、今後改善が必要。

●都市農業施策の推進

都市部の農業は、まちの緑といった観点で潤いや、レクリエーション、教育の場、そして有事に機能する防災拠点として機能する大切なものです。川崎市においても宮前区を含め1100件以上の農家が存在しており、約550haの生産緑地を有しています。

1期目では、中学校給食における市内産農産物の利用を積極的に進め、全校統一献立での使用を実現。2期目では、一斉解除が懸念された「生産緑地2022年問題」において、特定生産緑地移行に向けた積極的な取組を進め、県下最高水準の移行申出率95.2%を達成しました。

3期目においては、国の「みどりの食料システム戦略」等に基づき、減農薬・減化学肥料を推進、学校給食における市内産農産物のさらなる活用と、有機農産物活用の可能性を検討します。農業従事者が本市で農業を営む事に希望が持てる、そういった都市農業施策を進めてまいります。

25頁参照



1. 3期目公約について

お年寄りや障がい者が元気に活躍できる環境づくり



達成度
(任期終了前に評価)

●(鷺沼駅再開発) 交通渋滞対策と災害対策の充実

2019年3月、川崎市長から鷺沼駅周辺再編整備に併せて、宮前区役所・市民館・図書館を鷺沼駅に移設する基本方針が示され、現在準備組合による事業計画に基づき、駅前街区(R9~10年度)、北街区(R12~14年度)共用開始に向けて、再開発に向けた準備が進められています。

三施設移転は宮前区の核を作り出す側面がある一方で、大規模災害時の対応、鷺沼駅周辺の交通渋滞、交通アクセスに問題がある地域に対する配慮や跡地の活用など、議論していかなくてはならない課題が多いのが現状です。改選後の市議会等を通じて、山積する問題に対する市の見解を明らかにすると共に、現実的な課題解決に向けて議論を積み重ねて参ります。

●歯科口腔保険の充実

歯及び口腔の健康づくりが、生活習慣病の予防など全身の健康の保持増進に重要な役割を果たすことを鑑み、川崎市歯科医師会と連携し、市民の生涯にわたる健康の保持増進を目的とした(仮称)川崎市歯科口腔条例の制定に向けた検討と共に、市内小学校・中学校でのフッ化物洗口の導入に向けた取組を進めます。

また、歯とお口の機能低下である「オーラルフレイル」は、全身の筋肉や心身の活力の衰え(フレイル)や介護が必要な状態になる原因の一つとも言われています。本市のオーラルフレイルに関する取組を充実し、高齢者等が自分の口の衰えに早く気づき、口の機能の改善を図ることで、必要な栄養を摂ることや会話などの社会参加がしやすくなり、心身のフレイル予防へと繋がられる、そういった環境を目指して参ります。

取組状況

18頁参照



自民党川崎市連の公約にも掲げ、推進している「市内小中学校でのフッ化物洗口の導入」について、令和5年度では一部学校にて洗口液配布の取組が行われ、効果検証が実施されることになった。

検証結果をしっかりと分析し、全校導入に向け推進をしていく予定。

1. 3期目公約について



教育の充実と、地域の文化・歴史に触れる機会をつくる

●市唯一の国史跡指定・橋樹官衙遺跡群を活かした地域づくり

平成30年、市初の国史跡指定を受けた橋樹官衙遺跡群（影向寺、橋樹郡衙）の保存活用計画が策定されました。この計画は、史跡指定地内を初め、計画にかかる民有地の地権者と協議を重ねながら、公有地化を推進する他、観光・教育・文化資源としての活用を見据えて、現在の課題（史跡を学ぶ施設、交通アクセス、多目的広場や道路等の整備）を進める為の根拠となる重要な計画です。野川地域を中心とした今後30年間のまちづくりに大きな影響を与える計画を地域の要望を的確に吸い上げながら、計画に反映できるよう努めて参ります。

また、令和6年に迎える市制100周年、新しく出来る新本庁舎と、かつての役所の跡地である橋樹官衙遺跡群に関するイベント等を企画し、愛着と誇りの持てるまちづくりを進めていきます。

取組状況

本年3月「川崎市文化財保存活用地域計画」が策定され、国史跡橋樹官衙遺跡群の史跡調査・整備・活用が引き続き掲げられている。

昨年には、全国初となる飛鳥時代の倉庫を復元が完成。本年川崎市制100周年を迎える中で、本年には「たちばな古代の丘緑地」を歴史公園にし、リニューアルオープン式典やシンポジウム等の事業が行われる予定。

達成度 (任期終了前に評価)



●地域文化財のPRと教育現場での地域学習の充実

宮前区には多くの誇るべき歴史的な文化財が存在しており、そういった有形・無形文化財を通じて、自分が住んでいる地域に誇りを持つということは非常に重要です。地域のことを「知る」という事はその第一歩だと思います。平成29年12月に創設された地域文化財制度を充実させ、既存の文化財マップと連携すると共に、案内説明板等を含め文化財を歩きながら、知り学べるまちづくりを推進します。

学校現場においても積極的に地域文化財に触れ合う機会をつくり、地域学習の充実を図ります。

また、令和元年東日本台風で水没してしまった市民ミュージアムに代わり、「新しい美術館・博物館」設置に向けた取組が進められています。市北部への設置を推進すると共に、重要文化財をはじめ、市が有する歴史的な文化財を市民が感じることが出来る企画等ができる施設として参ります。

本年2月、「（仮称）新たなミュージアムに関する基本計画」策定に向けた検討状況について（中間報告）」が公表された。

令和元年東日本台風で水没してしまった市民ミュージアムに代わり、「新しい美術館・博物館」設置に向けた検討が、生田緑地ばら苑隣接区域を候補地とし、専門家との懇談会や市民ワークショップ等を通じて議論・検討を深めている状況。



わかりやすい市政と 積極的な情報発信の取組について

① 毎定例議会後「矢沢たかおNEWS」の発行

- ▶ 現在Vol.32まで発行
発行配布枚数 計107.5万枚



② タウンニュース掲載・新聞等

- ▶ 現在Vol.48まで掲載
- ▶ 新聞掲載 計2回（神奈川新聞等）



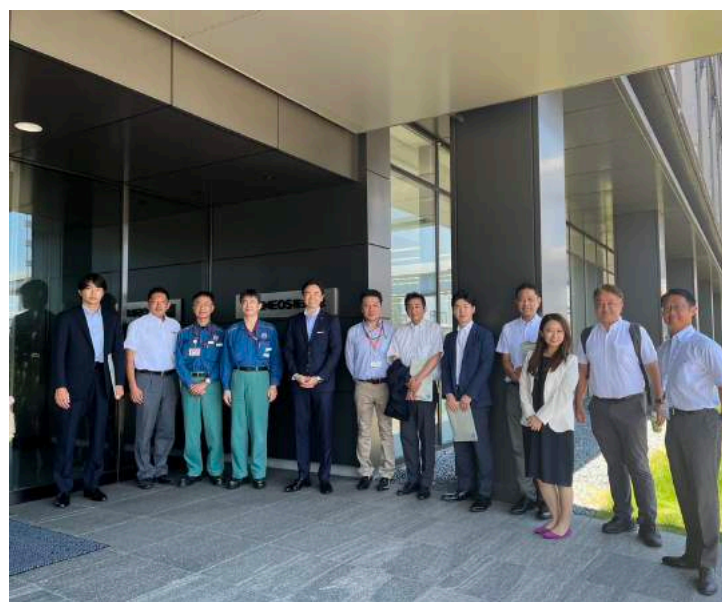
③ インターネット活用

- ▶ HP更新回数 772記事掲載
アクセス数 年間約1.6万回
- ▶ SNS発信回数 Twitter 2620投稿（ほぼ毎日）





【議会活動】令和5年度は総務委員会に所属



【政党活動】政調会長代理として
自民党市連勉強会を年4回で企画実施



【後援会活動】4年振りの開催となった
賀詞交歓会。後援会バス旅行も実施。



【団体活動】川崎市幼稚園父母の会連合会会長
として市長への要望活動等、各団体活動も実施



【政党活動】自民党宮前区連合支部として、令
和6年能登半島地震被災地支援活動を実施



【議員活動】矢沢たかおNEWSをはじめ、各種
媒体、駅頭市政報告などを実施

目次

1. 3期目公約について

2. 宮前区に係る4大事業の状況

3. 地域の諸課題への取組状況

横浜市営地下鉄3号線延伸

取組状況について

これまでの経過

- 平成26年度 事業化に向けた基礎調査を実施
～ 中略 ～
- 令和元年8月 向丘地区連合自治会、東側ルート選定の対市要望を提出
- 令和元年9月 意見募集実施（意見提出104通、意見件数261件）
- 令和元年10月 宮前区選出議員団、東側ルート選定の対市要望を提出
- 令和元年11月 川崎市側の概略ルート等についての基本的な考え方を公表
- 令和2年1月 概略ルート・駅位置についての公表（東側ルート決定）
- 令和2年度 横浜市による川崎市域内の土質調査実施（6箇所）
- 令和3年度 横浜市による川崎市域内の土質調査実施（3箇所）
- 令和4年度 横浜市による川崎市域内の土質調査実施（5箇所）、具体化に向けた検討の深度化**



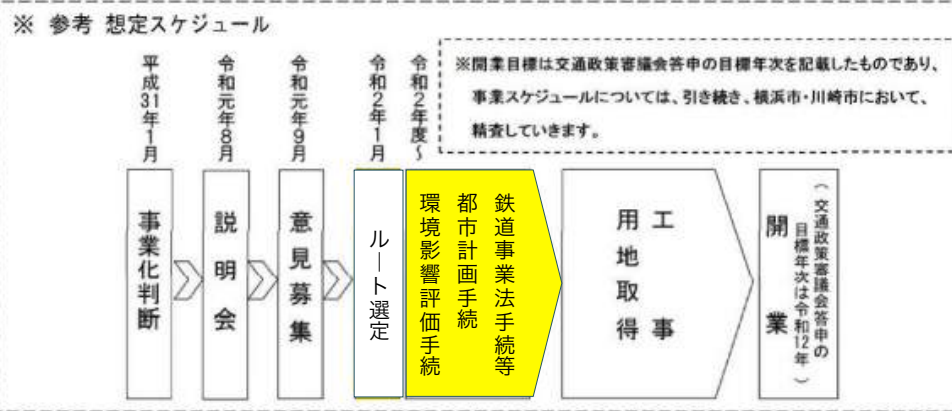
宮前区選出議員団の代表幹事として、東側ルート選定に関する要望書を取りまとめ市長に提出



事業概要

整備区間	あざみ野～嶮山付近～すすき野付近～川崎市中間駅～新百合ヶ丘
整備延長	約6.5km
概算事業費	約1.720億円
ルート・駅位置	新設4駅（川崎・東側ルート）
事業主体	横浜市交通局
開業	令和12年開業目標
川崎市中間駅	ヨネツティー王禅寺付近

○環境影響評価手続の着手に向けての準備を進める。今後、国や関係者との協議・調整を進めるとともに、環境影響評価や都市計画、鉄道事業法等の手続を経て、早期の事業着手を目指す。



今後の課題

- ヨネツティー王禅寺付近における駅周辺まちづくりの方向性
→ 駅周辺まちづくりの活性化が重要。地域資源を活かしつつ、将来のまちづくりを議論する機会の創出に努めます。
- 公共交通ネットワークの充実
→ 新駅予定地へのアクセス性は非常に重要な課題。バス路線の充実は勿論、駅に至るまでの交通渋滞対策が重要であり、道路改良・交差点改良など、総合的な改善に取り組んで参ります。

鷺沼駅周辺再開発の状況 課題点の解消に向けて

【議会での質問実績】

- 令和元年6月 第3回定例会、公共機能移転に伴う課題の解消に向けた質疑・要望
- 令和2年6月 第4回定例会、新しい宮前市民館・図書館に関する質疑・要望
- 令和3年6月 第2回定例会、向ヶ丘出張所の機能強化に向けた質疑・要望

【経緯および当初の事業スケジュール】

- 平成29年8月 鷺沼駅前再開発準備組合設立
- 令和元年8月 環境アセスメント手続き着手
- 令和2年度 都市計画決定（延期）
- 令和3年度 工事着手（延期）
- 令和7～8年頃 駅前街区竣工（延期）

ポストコロナ社会
 を見据えた事業検証



鷺沼36号線側低層部イメージ

【事業検証に伴う全体スケジュールの変更】

- 令和4年11月 事業検証結果を公表
- 令和5年9月 都市計画決定
- 令和6年度 実施設計・駅前街区工事着手** ← 現在
- 駅前街区完成予定：令和9～10年度
- 北街区完成予定：令和12～14年度

昭和大学新校舎の整備

■計画イメージ



学生数約 2,000 人を想定する昭和大学鷺沼校地新キャンパス

今後の課題や検討事項

○新しい宮前市民館・図書館

→令和2年8月基本方針策定。全9回に渡って実施した新施設について考える市民ワークショップが終了。全体スケジュールに合わせ、令和7年度までに管理運営計画策定及び基本・実施設計策定見込み

○公共交通ネットワークの充実

→ 拡大する交通広場を活用し、市バス路線の充実を図る

○現区役所等施設用地の基本計画

→ 令和9～10年度までに基本計画策定を目標

○地域バランスを考慮した向ヶ丘出張所機能の在り方検討

→ 令和4年2月「出張所の活用方針」を策定（次頁参照）

地域バランスを考慮した 向丘出張所機能強化に向けて



これまでの経過

平成31年（2019年）3月に「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」が策定されました。この基本方針の中で、向丘出張所については、地域バランスを考慮した区全体の機能向上という観点や、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組、コミュニティ施策に関する取組など、地域と共に地域ニーズや課題を把握・整理し、機能の在り方を検討する事としていました。

この位置付けを踏まえ、これまで地域活動団体ヒアリングやワークショップ形式の意見交換会の開催等の取組を実施。**令和4年2月に「宮前区役所向丘出張所の今後の活用に関する方針」が策定されました。**現在、この方針に基づき施策が進んでいます。

今後の活用方針について

活用方針では、これまでの地域からの意見を踏まえ、**基本的な考え方「多世代が気軽に立ち寄り、人や活動がつながる向丘地区の核となる出張所」として、8つの求められる機能を定め、各機能と取組が示されています。**

取組スケジュールは、**短期(令和4～5年)、中期(令和6～7年)、長期(令和8年～)に分類**し進めていく事となっています。

令和4年度では、出張所内に「図書コーナーの設置」、「庁舎1階部の木質化」などいくつかの施策が進んでいます。

今後の活用方針について

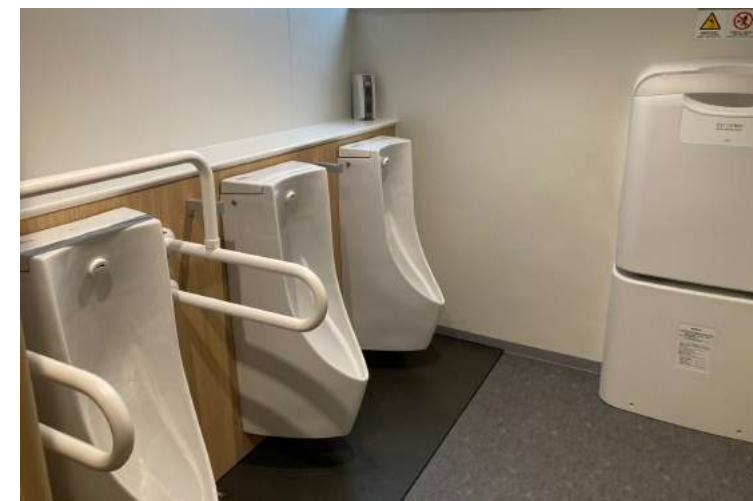
出張所の木質化、図書コーナーの設置、トイレの快適化など、人が集い活動がつながる環境整備が進んでいる中、**今後の課題としては、ICTを活用した業務手続き支援や相談機能の充実**が求められています。

マイナンバーカードの普及により、**証明書発行については、既にコンビニ等による発行件数が出張所を上回っている状況**です。

活用方針においても、中長期の取組として掲げられているものであり、**出張所に行けば様々な相談や業務手続き支援が受けられる仕組みを進めていきたい**と考えています。



木質化後の出張所では日々様々なイベントが行われている（本の読み聞かせイベントの様子）



令和5年 出張所トイレの快適化が完了 18

北部市場の機能更新 基本計画の策定が完了！！

議会質問と経過

【議会での質問実績】

- 平成30年3月 第1回定例会、予算審査特別委員会にて経営プラン改定要望
- 平成31年3月 第1回定例会、市卸売市場経営プラン骨子案について質問
- 令和2年3月 第1回定例会、北部市場施設老朽化対策等について質問・要望

【市の取り組み状況】

- 平成27年度 川崎市卸売市場経営プラン策定（今後10年間の方向性）
- 平成30年6月 国において大幅な規制緩和を伴う改正卸売市場法が成立
- 令和元年6月 川崎市卸売市場経営プラン改訂版を公表
- 令和2年9月～12月 北部市場の機能更新に関するサウンディング型市場調査
- 令和3年11月&令和4年9月 北部市場機能更新に関する基本計画策定の延期が発表
- 令和6年3月 「川崎市中央卸売市場北部市場機能更新に係る基本計画」策定



北部市場協会賀詞交歓会での挨拶の様子



北部市場で行われた「食彩祭り」の様子

リニューアルの必要性について

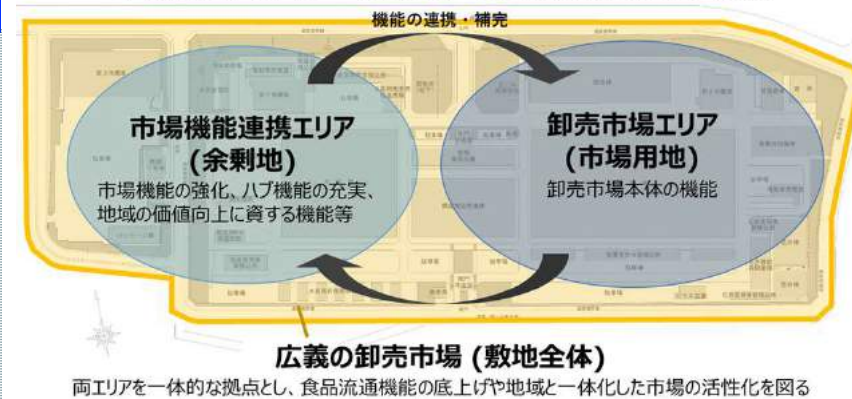
北部市場は、市域を中心とした食の安定供給に貢献してきましたが、開場から41年が経過。施設老朽化に対応し、社会経済環境の変化に対応した機能強化を図るため、全体的な機能の更新が必要となっています。加えて、厳しい市の財政状況にあることを踏まえ、**機能更新を契機とした維持管理・運営の効率化や卸売市場事業特別会計の健全化による持続可能な運営構造への転換**が求められています。

基本計画の内容について

2度の基本計画策定の延期を経て、令和6年3月に策定された基本計画。現在ある市場を複層化&コンパクト化することで余剰地を創出し、効果的に活用することで市場全体の活性化と市場会計の健全化の両立を目指しています。

令和6年度に整備事業者の公募・選定を予定。全体スケジュールを極力、短縮出来るよう事業を推進していきます。

市場機能連携エリア（余剰地）の活用に係る基本的考え方



※約17万㎡ある北部市場の敷地活用イメージ 20

目次

1. 3期目公約について

2. 宮前区に係る4大事業の状況

3. 地域の諸課題への取組状況

市バス・交通渋滞対策

野川柿生線(溝口方面行き等)



これまでの経過

【議会での質問実績】

- ・平成29年6月 第2回定例会において、向丘地区の交通渋滞対策を質問
- ・令和2年9月 決算審査特別委員会まちづくり分科会にて質問・要望

【市の取り組み状況】

- ・平成30年3月「都市計画道路網の見直し方針の改定」にて、野川柿生線溝口方面が道路改良モデル路線に認定。バスベイ（バス避け）設置や交差点改良の計画が位置付けられる。
- ・令和元年度 向丘出張所バス停及び向丘中学校下バス停へのバスベイ設置基本設計実施。
- ・令和2年度 向丘中学校下バス停へのバスベイ設置に関する詳細設計予定
- ・令和4年度 向丘中学校下バス停へのバスベイ設置及びバス停の移設完了予定



平日朝7時頃の向丘出張所付近の様子

野川柿生線に新たなバスベイ設置

向丘中学校下バス停（高架下）は、バスベイ設置が令和4年中に工事完了を予定しています。神木本町交差点付近、向丘中学校下バス停は、高架下公園付近に移設し、同時にバスベイを設置する計画です。

向丘出張所については、バスベイ設置、バス停移設により失われてしまう駐車スペース代替地の検討や、向丘出張所の在り方検討との連携等の課題があります。早期の効果発現に向けて引き続き取り組んで参ります。



神木本町高架下に設置されたバスベイ



都市計画道路・横浜生田線

水沢工区について

都市計画道路横浜生田線の位置付け

- ・都市計画道路横浜生田線は、川崎市域の骨格を形成する重要な幹線道路である。
- ・川崎市は立地特性から、通過交通が多く割合を占め、市民の行動圏も東京都心や横浜との結びつきが強い
- ・こうした中、横浜生田線は昭和47年から順次整備を進め、現在路線の約8割が完成している。
- ・川崎市宮前区と横浜市青葉区を結ぶ、都市計画道路稗原線と都市計画道路向ヶ丘遊園駅菅生線が開通し、県道横浜生田の交通負担が軽減。引き続き、都市間連携のための都市計画道路横浜生田線の整備が必要である。

【議会での質問実績】

- ・平成27年12月 第5回定例会にて開通に向けた取り組み状況を質問・要望
～ 中略 ～
- ・令和5年6月 第3回定例会にて開通に向けた取り組み状況を質問・要望

【開通に向けた市の取り組み状況】

- ・平成27年度 第2期川崎市道路整備プログラム（平成33年度）開通路線として位置付け
- ・平成28～31年度 事業用地の買収に向けた準備等及び、横浜市との継続した調整
- ・令和元年度 事業用地すべての買収が完了し、工事に関する基本設計が完了
- ・令和3年度 第2期川崎市道路整備プログラム後期にスライド（令和7年度開通目標）

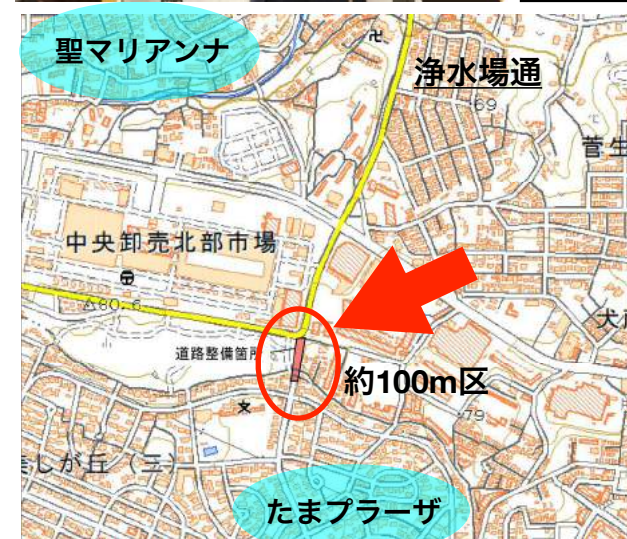
今後の方向性について

現在、平成28年度策定の第2期川崎市道路整備プログラムに基づき、整備推進路線として令和3年度完成を目指していましたが、**横浜市側との調整が整っていない為、後期（令和4～7年）に移行されました。**令和4年度は川崎市として約2千万円の予算を確保し、自主アセス（環境影響調査）を実施しています。年内に調査結果を取りまとめ、横浜市と共有し、開通に向け、協議を進めていきます。

引き続き、横浜市とより一層の連携を図り、早期の道路開通に向けて取り組んでいく方向性です。



令和5年
第3回市
議会定
例会一
般質問
で取り
上げた
様子



川崎市公立菅生保育園移転・跡地活用について

菅生保育園移転の経緯

宮前区初山にある川崎市公立保育園である「菅生保育園」については、この度、蔵敷にある地域子育て支援センターすがおとの合築改修工事を行い、移転することが公表された。菅生保育園は、敷地が約1,400平米、鉄筋コンクリート造の地上2階建ての延べ床面積が約630平米、定員が120名、昭和49年完成の築50年の建物となっている。これは、昨年のまちづくり委員会で報告された「公共建築物の耐震対策」において、今後深度6強～7程度の大地震が発生した場合、「地震の震動及び衝撃に対して、倒壊し、又は崩壊する危険性がある。」建物と判定をされた事に伴う移転である。

議会質問

【議会での質問実績】

- 令和6年3月 第1回定例会にて跡地活用に向けた質問・要望

【移転決定からの市の取り組み状況】

- 跡地については、新たな行政利用の実現可能性の検討を進め、行政利用が見込まれない場合には、民間活力の活用可能性について検討を進める。

今後の方向性について

令和7年10月以降、移転した菅生保育園の跡地について、所管局であることも未来局としては、新たな保育所設置などの使い方は予定しておらず、また、他の活用も想定されないことから、令和5年7月に全庁に向けた利活用調査を実施したが、調査の結果、希望する部署がありませんでした。

現在、新たな行政利用の実現可能性については、民間活力も視野に入れてスキームに則って検討を進めていく事となっています。

貴重な公共用地ですので、行政用途&民間活力、最大限の検討をしていただきながら、地域に望まれる形で将来的な活用を求めて参ります。



令和6年
第1回市
議会定
例会で
の質問
の様子



<令和5年度>議会等での役割



<市議会>

■総務委員会 委員

■大都市税財政制度特別委員会 委員

<党市連>

■政調会長代理

<団体等>

■市幼稚園父母の会連合会 会長

■宮前区剣道連盟 理事

■宮前区少年野球連盟 顧問

■宮前区ゲートボール協会 顧問

■県宅建協会川崎北支部 顧問

■自衛隊募集相談員 顧問

■市空調衛生工業会 顧問

■川崎葬祭具協同組合 顧問

■川崎市造園建設業協同組合 顧問

しっかり聴く市民相談所

市民相談お気軽にお問い合わせください！

矢沢たかお事務所・・・神奈川県川崎市宮前区初山 1-20-12

電話 044 - 976 - 2727

FAX 044 - 976 - 8686

mail mail@yazawa-t.info

矢沢たかお

検索

<https://www.yazawa-t.jp/>

[twitter](#) [facebook](#) [instagram](#)

